

目指す姿

県民にとってスポーツを「する」楽しみだけでなく、「観る」、「支える」、「育てる」など、日常生活のワンシーンとして、広く親しまれ、暮らしの中に溶け込み、長きにわたり県民の夢や感動を生み出す県内スポーツのレガシーエリアとなっている。

<目指す姿を実現するための柱>

1 『スポーツを楽しむ環境づくりのための施設整備』を目指す

する

観る

支える

- ・年齢・性別・障害の有無に関わらずスポーツを楽しむことができる施設の整備
- ・施設の老朽化等に対応した施設の整備

する

観る

支える

育てる

2 『県有スポーツ施設としてのあるべき機能・設備を備えた施設整備』を目指す

- ・全国規模の大会やプロスポーツのような『観る』スポーツにも対応した施設の整備
- ・トップアスリートの練習環境が整った施設の整備

3 『競技力の向上を支援する施設整備』を目指す

育てる

- ・指導者の育成、競技団体の連携が図れる施設の整備
- ・スポーツ医学・科学等によるサポートが行うことができる施設の整備

4 『スポーツツーリズムを推進できる施設整備』を目指す

観る

- ・トップアスリートのキャンプや合宿などに対応した施設の整備

5 『多目的な利用ができる施設整備』を目指す

- ・コンサートなど、スポーツ以外での利用が可能な施設の整備
- ・スポーツを行わない人でも憩い、集えるような施設の整備

6 『アクセスしやすい施設整備』を目指す

- ・周辺道路とのアクセス、施設内動線を配慮した施設の整備
- ・利用者の利便性向上のための駐車場の整備

7 『環境に配慮した施設整備』を目指す

- ・太陽光発電など再生可能エネルギーを活用した施設の整備
- ・周辺の景観に配慮した施設の整備

8 『防災拠点として活用できる施設整備』を目指す

- ・防災拠点としての機能を備えた施設の整備